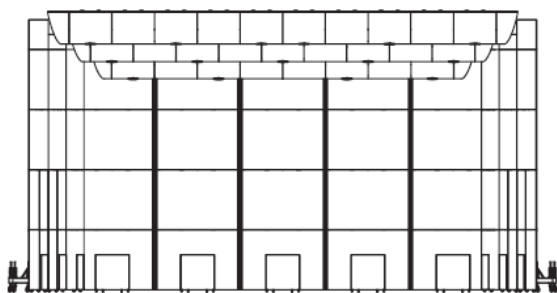


Forte Acoustical Shell

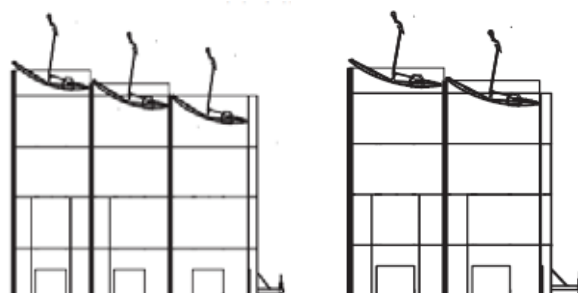
フォルテ移動式音響反射板



レガシー移動式音響反射板に音響特性が優れ、照明器具を組み込むように作られた天井音響反射板を備えた機種がフォルテです。舞台全体に音響エンクロージャを作ることができます。



前面



側面

タワーパネルを全て使用

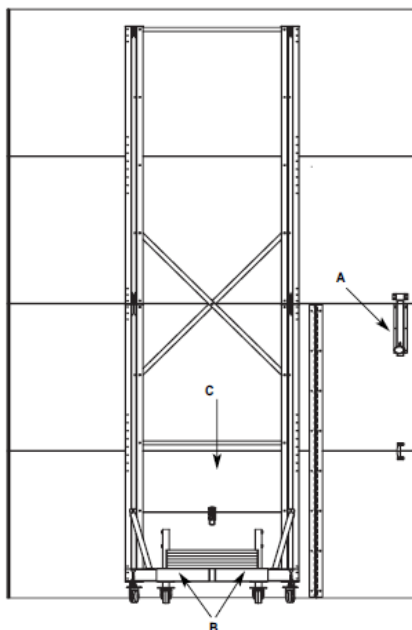
タワーパネルを縮小使用

- タワー音響反射板と天井音響反射板を使うことで、舞台全体を覆う音響エンクロージャが出来上がります。
- タワー音響反射板と天井音響反射板は様々な仕上げにできます。選択肢の一つは、塗装仕上げにするかラミネート張りにするかということです。
- タワー音響反射板は、前面の高さ調節ができる舞台面を傷つけない101ミリのキャスターで動かすことができます。
- タワー音響反射板はバックステージに重ねて収納できます。天井音響反射板は、吊り下げ金具で吊り上げ、舞台上面に収納することができます。
- タワー音響反射板と天井音響反射板は複合材できており、強靱な皮膜で覆われたパネルです。
- 複合材で作られたパネルの強靱な皮膜面は、3ミリ厚になっており両面に貼られています。塗装仕様の製品は、塗装仕上げとなっています。
- タワー音響反射板と天井音響反射板のフレームは鋼鉄製です。
- 天井音響反射板の蝶番は、滑らかで静かな動作が維持できるように自動給油式のベアリングを使っています。
- 天井音響反射板の間にあるタワー音響反射板とフィラー音響反射板に施された処理が、音響反射板間の照り返しがバックステージに行くのを防いでくれます。

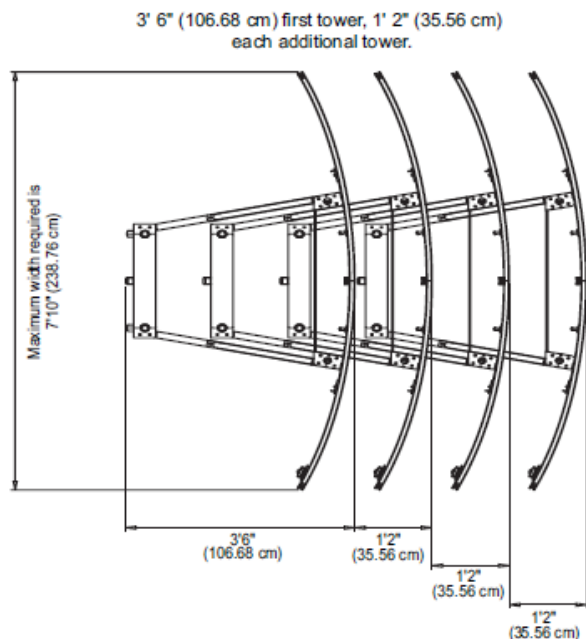
Forte Acoustical Shell

タワー音響反射板

- 全てのタワー音響反射板は、3.05メートル径の曲面となっています。パネルは25.4ミリ厚のハニカムできています。ハニカムの両面に5ミリ厚の板を張っていますので実質35ミリ厚のパネルです。
- タワー音響反射板の高さは、4.88メートルから6.1メートルまでの間で約30センチごとに変えることができます。タワー音響反射板の幅は2,438ミリです(明かりをもれなくするスペーサ - 込み、収納幅は2,387ミリです)。
- パネルの仕上げはラミネート貼り付けとペインと塗装の二種類があります。
- アクセスタアは左右どちら側にも用意することができます。
- タワー音響反射板とベースは、黒色のパウダーコート仕上げがなされた鋼鉄で作られています。
- それぞれのタワー音響反射板は、安全を確保するためカウンターウェイトをベースに搭載しています。
- それぞれのタワー音響反射板は、高さの微調整ができる機構をつけています。
- タワー音響反射板は、収納スペースが最小限となるように音響反射板同士を重ね合わせるすることができます。
- 音響反射板の表面仕上げは、塗装硬板かいくつかのラミネート仕上げを選択することができます。
- タワー音響反射板は、ベースフレームに差し込むハンドルで動かすことができます。



タワー音響反射板の背面



タワー音響反射板の収納



アクセスタア



収納準備



コンパクトな収納

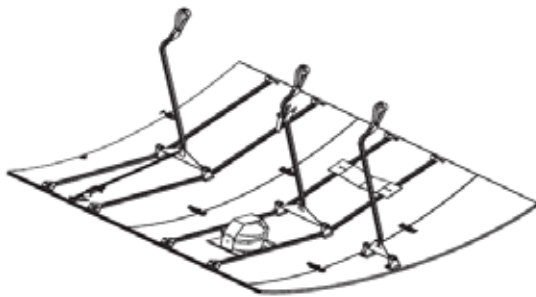


タワー音響反射板

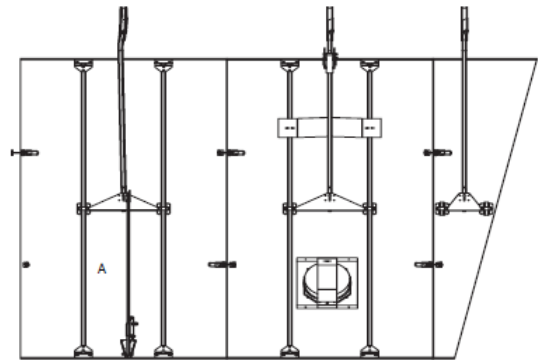
Forte Acoustical Shell

天井音響反射板

- 天井音響反射板は、3.05メートル径の曲面を持っています。奥行(収納時の高さ)は、1,219ミリから1,524ミリまたは1,829ミリから2,438ミリの二種類があります。
- パネルの仕上げはペイント塗装またはラミネート貼り付けの二種類があります。
- 天井反射板を垂直に立てて収納できます。演奏時に行った角度調整のまま回転できます。
- 天井音響反射板はバランスよくできていますので、設置作業をするのに二人以上必要としません。
- 天井音響反射板は、全体が鋼鉄製のフレームでできており、50.8ミリ(2インチ)径のパイプバトンを使って吊り下げます。
- 天井音響反射板に照明器具を取り付けることができますが、別売です。
- 天井音響反射板の側面の厚みは343ミリから384ミリになります。
- 天井音響反射板の裏側仕上げは黒色塗装です。



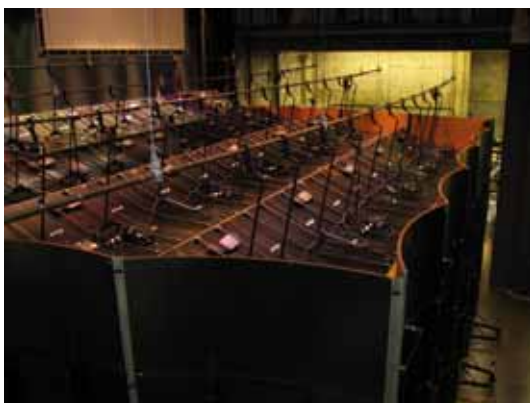
照明器具を取り付けた天井音響反射板



天井音響反射板裏面



天井音響反射板の全体像



天井音響反射板の裏側



収納に備えて垂直方向に

Forte Acoustical Shell

天井音響反射板の照明器具

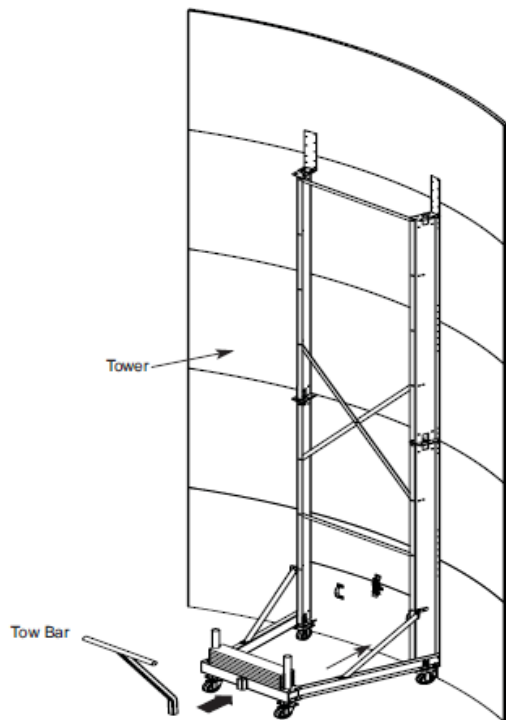
- 天井反射板への取り付け
- 天井反射板の間から

タワー(正面音響反射板並びに側面音響反射板)並びに天井音響反射板の仕上げ

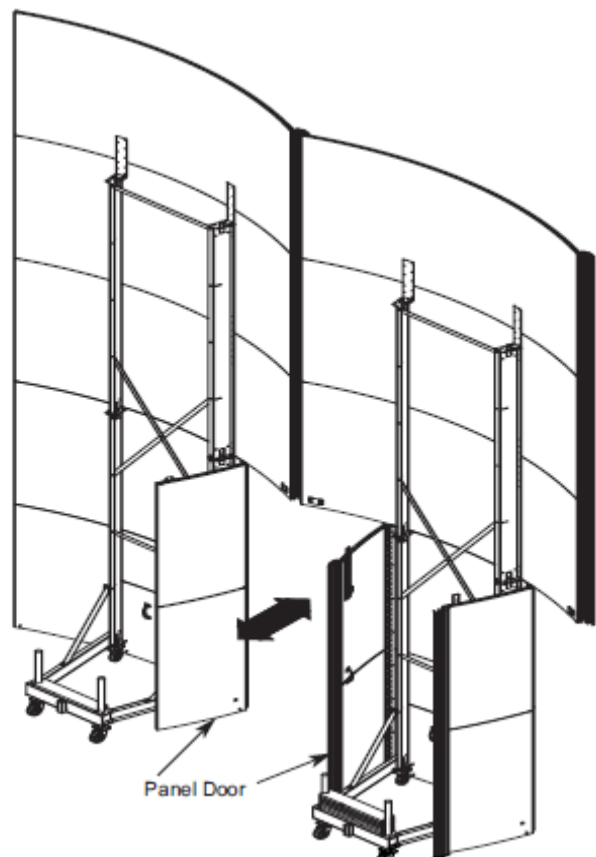
- 塗装
- ラミネート張り

パネル色見本を用意しております。

タワー音響反射板の移動



- タワー反射板に収納されている専用バーを使って移動します

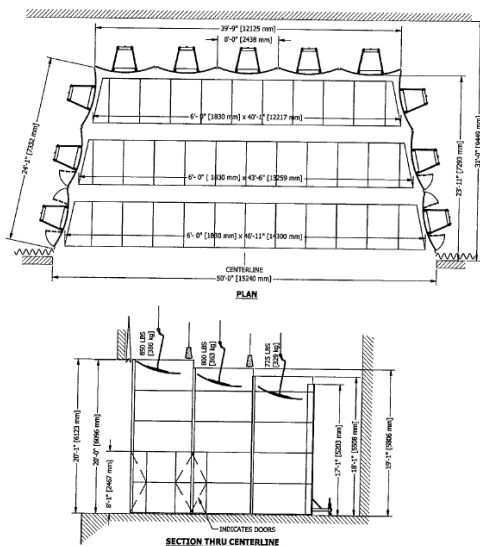


アクセスドアの取り付け

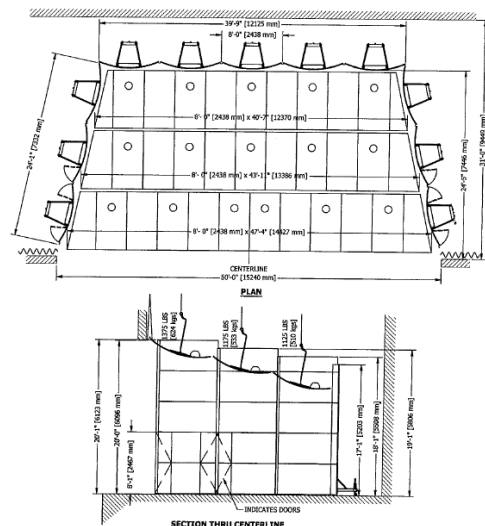


タワー音響反射板の移動

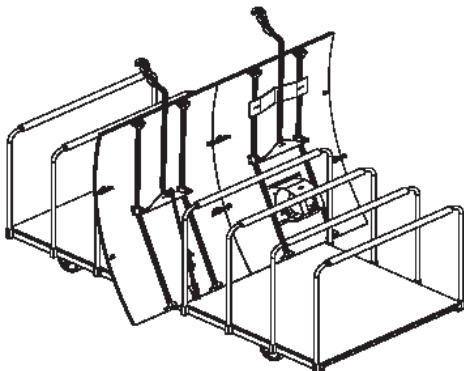
レイアウト例



照明器具を天井反射板の間に設置



照明器具を天井反射板に取り付け



天井音響反射板移動用カート

フォルテ納入実績

バトラー大学 (Butler University)	クロウズ記念ホール (Clowes Memorial Hall)	インディアナポリス、インディアナ州 アメリカ合衆国
West Genesee Central School		ニューヨーク、ニューヨーク州
弘前大学	みちのくホール	青森県、弘前市

バトラー大学からの感謝のコメント

エリス・クシジアン、エグゼクティブダイレクター
クロウズメモリアルホール、バトラー大学、
インディアナポリス、インディアナ



感謝の声 要約

フォルテ音響反射板を加えた最も大きい理由は、そのフレックス性と観客との一体感の高まりです。私たちは、室内楽団、ソロのパフォーマーまたはフルオーケストラであることにかかわらずアーティストに最もよく合うようにシェルを調整できます。彼

フォルテは、際立った既成の音響反射板で、予算見地からも納得のいく価格帯です。私たちはウェンガーのサービスに満足しています。彼らはそれらを供給しうる最高

級の会社です。ウェンガー社の音響反射板を選ばない方はないでしょう。

感謝の声 要約

私たちの状況はかなりユニークでした。クロウズホールは 1963 年に建てられたときに、それはグランドオペラとインディアナポリスシンフォニーオーケストラの本拠地として考えられました。私たちは、移動しやすい特注の反射板を持っていましたが、使い方が変わった場合に適切に対応もできず、音響学上も根拠のないものでした。

数年が過ぎ、シンフォニーは成長しました。そして、オーケストラと合唱団の両方を必要としたプログラムが増えました。私たちは、いろんなことができるように音響反射板の形状を変えました。元々側壁が後部に向かって曲がっていたので、後部のほうが前部より小さかったのです。それが構造的な問題なので、私たちは反射板の位置をあまり変えることができませんでした。ブロードウェイやオペラは、より多くのラインセットを必要としたので、それは、フレックス性を欠いていました。そして、室内楽団には、古いシェルは大き過ぎ、無用の長物に見えました。

数年前に私たちはジャシュアベルソロピアノ演奏会を行いました。それはひどいお話にならないものでした。私は二度と演奏をしないとしました。

フォルテ音響反射板を加える最も大きい理由は使い勝手で、それらのすべてのラインセットから離れて観

Forte Acoustical Shell

客との一体感を増幅させます。フォルテは特注対応の音響反射板より傑出した音響反射板でした。予算見地からもフォルテのような標準仕様の音響反射板を選ぶのは当然のことでした。

同時に、私たちはフォルテ音響反射板を加えました。また、クロウズメモリアルホールでは他の音響調整もしました。私たちは、それが自然な音響ライブハウスであり続けるように勤めてきました。天井音響反射板は個別に調整可能で、前面テラスバルコニーの表面はサウンドスラップを抑えるように設計されたディフューザーに特徴があります。

すべての学校の音楽アンサンブルの開催地として、私たちのホールはぎっしり予定が入っています。毎年シンフォニックバンドやジャズバンドの行事がここで挙行されます。インディアナポリスシンフォニーもここに戻りがたっています。彼らは昨年ここでメシア 救世主'を演奏しました。

私たちの新しい音響反射板と音響調整で、このホールが完全であると思います。古い反射板のもとでは、ミュージシャンは、舞台上のある一定の場所ではデッド・スポットがあったと不平を言いました。フォルテ音響反射板を導入することでそれらのデッド・スポットはなくなり、今では皆が非常に喜んでいます。最も重要なものは側面壁の使い勝手の良さです。それらの可動性が大きな違いを生みました。

音響反射板はホールの壁に合わせるため茶色に塗装され、それが古い白いシェルよりさらに暖かくて親密な感覚を与えます。観客に一体感を感じさせるのは視覚局面においても重要です。

リチャード・エイ・クラーク、音楽助教授

バトラー大学、インディアナポリス、インディアナ

感謝の声--要約

ウエンガー社のフォルテ音響反射板は、オーケストラのすべての持ち味を出すのに役に立ちます。透明性を聞くことができます。オーケストラ編成の中にあっても、個々の音、色、およびリズムを聞くことができます。ミュージシャンの見地から、舞台上で反射板のおかげで音をはっきりと聴きとることができます。

感謝の声--要約

ウエンガー社のフォルテ音響反射板は、オーケストラのすべての持ち味を出すのに役に立ちます。透明性を聞くことができます。オーケストラ編成の中にあっても、ただ雑音の中というより、個々の音、色、およびリズムを聞くことができます。それは、私を最も幸福にさせます。

私は観客の皆さんと同様に、舞台上でディレクターとして、ミュージシャンとして反射板を体験しました。私はそこであらゆるアンサンブルを聞き、加えて、75 楽曲をもつ交響楽団と一緒にゲスト指揮者を招きました。舞台稽古の間、私のオーケストラが舞台上で指揮者なしでもレパートリーの一部をいつも演じることができると思っています。

ミュージシャンの見地からは、皆様が音響反射板のおかげでより良い音を舞台上で聞くことができます。それは直接あなたがホールで聞く透明性と明快にリンクしています。舞台上で楽器音が行き交う中で良く聞くことができるなら、また、良い音響反射板はホールの中でその特質を十分に現していることを知るでしょう。多くのホールで、ピオラや第二バイオリンセクションの後部にいるなら、オーケストラの反対側の音を聞くことができないでしょう。それは、悪夢です。悪い音響反射板によって引き起こされたものです。

私は以前室内楽団で古い音響反射板を使用しました。過去に私はオーケストラに古い音響反射板を使っていたので、クロウズホールで室内楽レパートリーを演奏させたくはなかった。それはうまく機能しないからでした。音が聞こえなかったので、皆様は補聴器を必要としたでしょう。私たちは代わりに地方教会でいつも演奏していました。私たちの新しいフォルテ音響反射板になってからは、私はクロウズで室内楽をしていま

Forte Acoustical Shell

す。それは良い音をはっきりと集中して伝えることができるからです。

私はウェンガー社のフォルテ音響反射板に非常に満足をしています。彼らはうまく選び当てました。成功!

弘前大学 みちのくホール



平成22年3月弘前大学のみちのくホールにウェンガー社のフォルテタイプ天井音響反射板をご納入しました。

中高域の豊さが増し、演奏者並びに観客から高い評価を得ることができました。